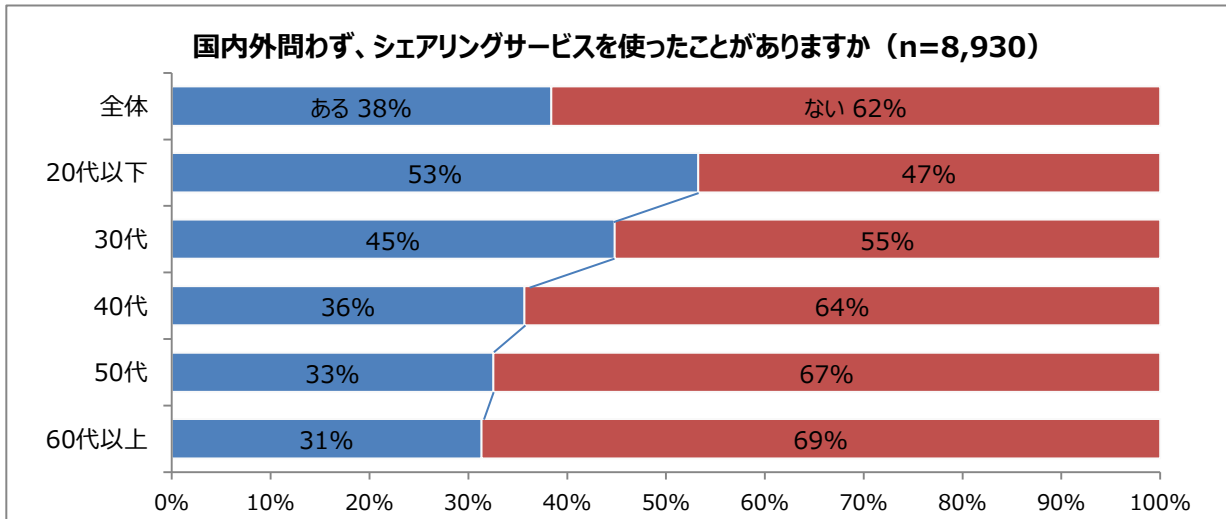




## ② 20代以下の53%はシェアリングサービスの利用経験あり

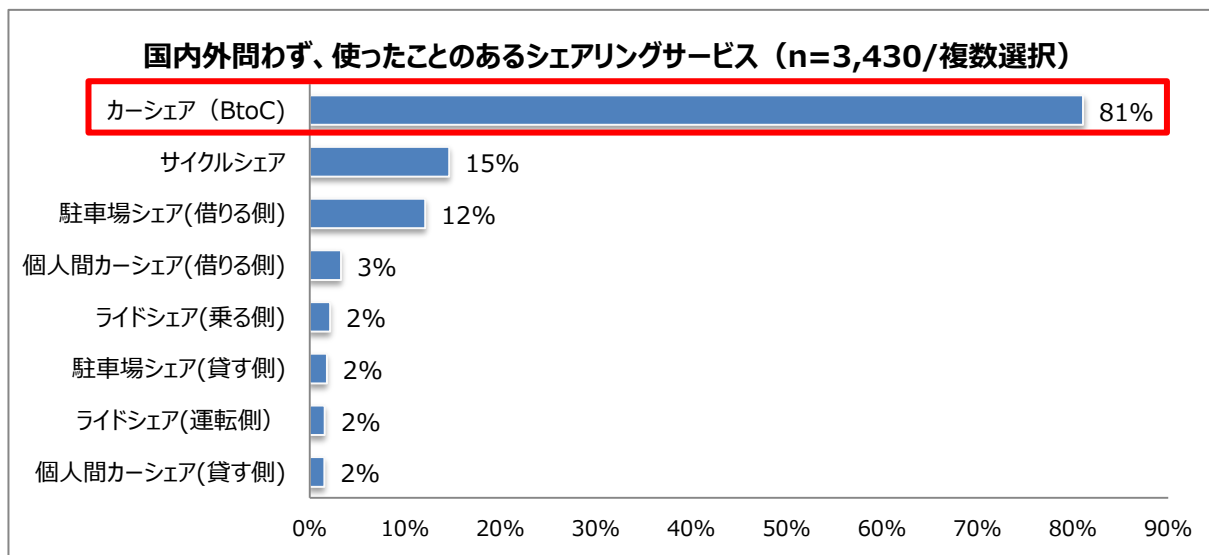
シェアリングサービスを利用したことが「ある」人は38%でした。

年代別で見ると、年代が若いほど利用経験者の割合が高く、20代以下では利用経験が「ある」人は53%と、全年代で唯一過半となっています。



利用したことがあるサービスは、「カーシェア (BtoC)」が81%と最も多く、次いで「サイクルシェア」15%、「駐車場シェア (借りる側)」12%となっています。その他のサービスは全て1割を切る結果となりました。

また、シェアリングサービスを利用したことが「ある」と回答した人の15%は、複数のサービスの利用経験がありました。

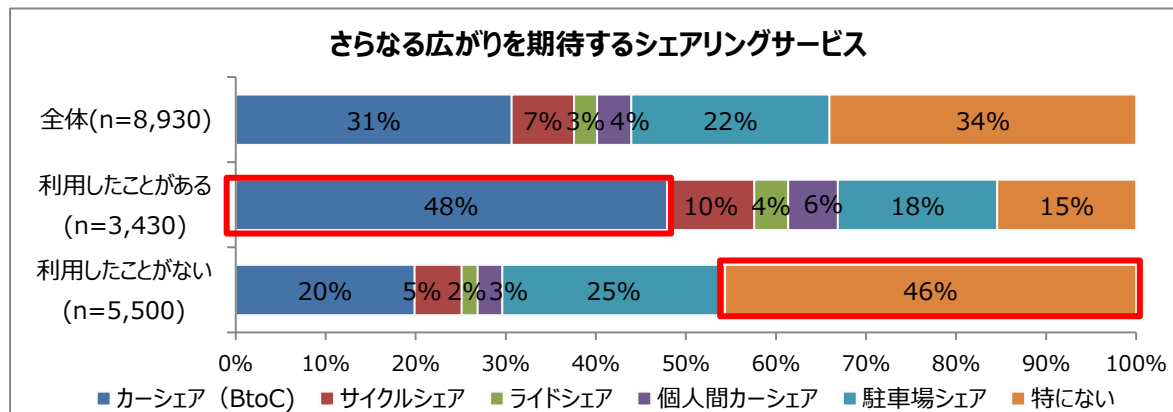


## ③ シェアリングサービスの広がりを期待する理由は「便利だから」が最多

さらなる広がりを期待するシェアリングサービスは、「カーシェア（BtoC）」が31%、「駐車場シェア」が22%でした。

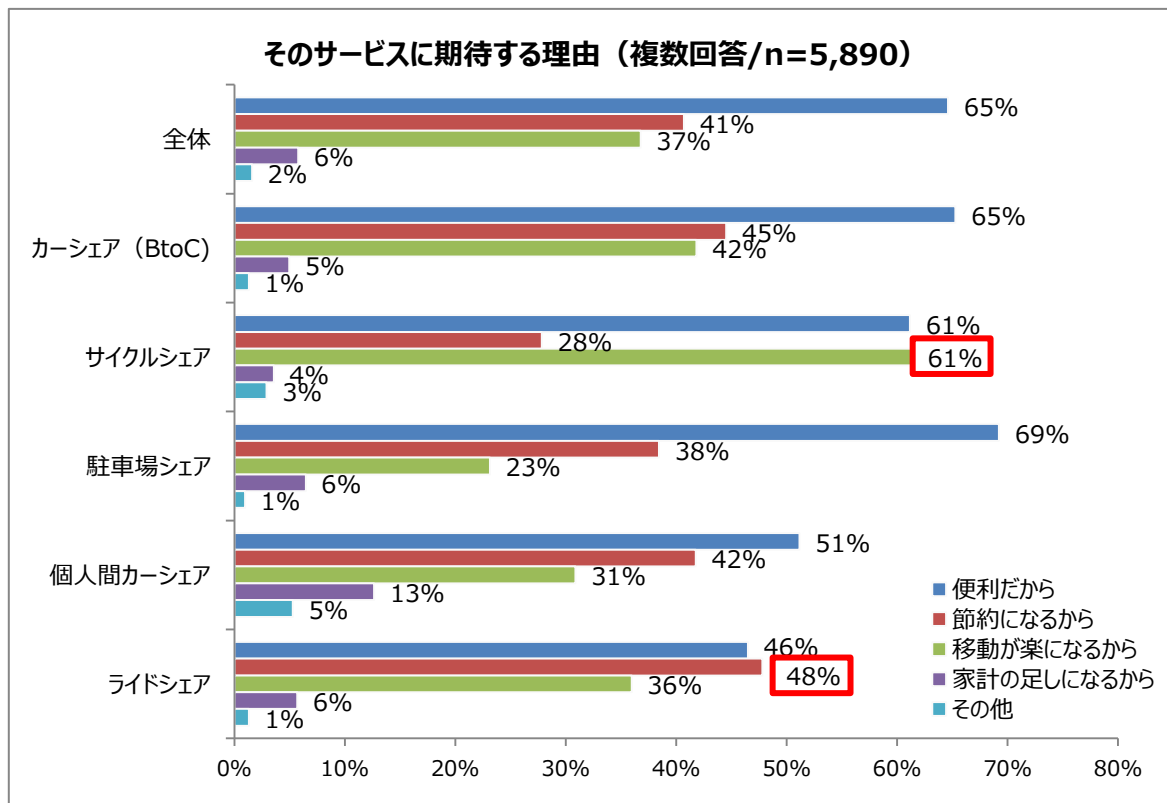
シェアリングサービスの利用経験の有無別でみると、利用したことが「ある」人は「カーシェア（BtoC）」が48%でトップ、次いで「駐車場シェア」18%、「サイクルシェア」10%と続きました。

一方、利用経験の「ない」人は「特にない」が最も多く、半数近い46%となった他、「駐車場シェア」が25%で、「カーシェア（BtoC）」の20%を5ポイント上回るなど、利用経験がある人と傾向の違いが見られました。



さらなる広がりを期待する理由は、「便利だから」65%、「節約になるから」41%、「移動が楽になるから」37%、「家計の足しになるから」6%でした。

サービス別でみると、サイクルシェアでは「移動が楽になるから」が61%と、全体よりも24ポイント高くなりました。また、ライドシェアは、このアンケートで挙げたサービスの中で唯一「節約になるから」が「便利だから」を上回りました。



今回のアンケート結果から、“シェアリングサービス”という言葉の認知度は高まっているものの、移動に関するサービスにおいては、利用経験がある人は4割弱にとどまっていることがわかりました。「便利そう」「節約になりそう」というイメージがあっても、利用に至らない要因としては、サービスの詳細がわからなかったり、近くに使える場所がなかったりといったことが想定されます。

パーク24グループは、ミチカな場所にサービスがあると感じていただけるよう、カーシェアリング車両数および駐車場数の拡大に努め、クルマを使いたい時に使える、とめたい時にとめたい場所にとめられる環境の整備を推進してまいります。

## ■調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

(2017年6月25日以降に入会し、直近でタイムズ駐車場・B-Times・タイムズカープラス・タイムズカーレンタルを利用された方)

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2018年6月25日～2018年7月1日

有効回答者数：8,930名

※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

※本リリースは国土交通記者会、自動車産業記者会に配布しております。